

令和5年度第1回倉敷市社会教育委員会議 会議録

(開催日時) 令和5年7月21日(金) 14時00分～15時00分

(開催場所) 倉敷市立美術館 第2会議室

(報告) (1) 教育行政重点施策・教育行政主要施策の取組

—令和4年度実績及び令和5年度計画—

(2) 社会教育団体への補助金

(出席者) 委員13人・欠席2人(別紙:社会教育委員名簿 参照)、事務局10人

(傍聴者) なし

(報道) なし

(会議内容) 以下のとおり

1 開会

2 挨拶

- ・教育長による挨拶

3 委嘱状交付

- ・教育長から委員に委嘱状を交付

4 委員紹介

- ・委員及び事務局紹介
- ・議長の選任

5 報告

(1) 教育行政重点施策・教育行政主要の取組みについて

—令和4年度実績及び令和5年度計画—

- ・事務局からの説明

社会教育分野の主要事業・重点事業を掲載した資料をもとに、生涯学習部関係の重点施策・主要事業の主な事業について、令和4年度実績及び令和5年度計画を説明。

事前質問2件について、資料2「質問に対する回答」のとおり回答。

【議長】 このほかに質問や意見はないか。

【委員】 大臣会合があった頃に、公民館を利用している方々から、市民が使う公民館のインターネット環境がこんなに脆弱なものでは本当に恥ずかしいという声があったので、この機会に伝えておきたいと思った。

家庭教育学級や、地域子育て支援拠点をしているが、課題のある家庭・子どもた

ち、特にその若年層の妊娠出産の家庭などには届きにくい。様々なセーフティネットに引っ掛かりづらい層にどうやって届けていくか考えた時に、しっかりしたハードを持つ倉敷市として、出来ることがあるのではないかと。

4月に子ども家庭庁が出来て、0歳から始まる母子保健の部分で、行政からの働きかけが変わってきている。このまま行くと人口は減っていく状況に、今手を付けなければいけない。生涯学習は、若年層や高齢者を対象とした施策にふれてる感じがする。子どもたち、特に若年で妊娠し出産を迎えるような子どもたちのところに、なにか施策を振り向けていけたらと思う。

→意見としての発言。回答不要。

【議長】 その他委員の方から何かあるか。

【委員】 さきほどの意見に同調する。私がこの会議に出席をしている間、ほぼ毎回のよう
にこの意見、この要望が出されている。Wi-Fi環境の整備は、公共インフラとして認めていくべき内容だろうと思っている。

他の自治体の図書館では、フリーWi-Fiを整備して、うるさくて本当に困っているのか。もし騒いでいる利用者がいたら、注意をして騒がないようにというのは、フリーWi-Fiがあるかどうかということとは関係ない話だと思う。公民館もロビーに不要だとも思っていない。

→意見としての発言。回答不要。

【議長】 大学関係者としては、大学連携の活動を通して、倉敷市に縁があって住むようになった若い学生が、倉敷を好きになって定住するように、育てていけたらと考えている。

そういう中で、学生たちが行ったことの成果物を美術館等で展示したり、地域の方と触れ合う機会を作っていることを、今回報告で知ることができ、大変感謝している。

その他委員の方から何かあるか。

【委員】 PTA活動が他の地区に比べて縮小してきている。活動に参加できる人もかなり減ってきており、特に世帯数の少ない小学校、中学校においては、地域学校協働本部もしくはコミュニティ・スクールと連携して活動するのが有効かと思う。

→意見としての発言。回答不要。

(2) 社会教育団体への補助金

・事務局からの説明

社会教育関係団体へ補助金を出すためには、社会教育委員の会議で意見聴取をすることが必要であると社会教育法で規定されているため、資料に基づき説明。

【議長】 意見等はないか。

【委員】 昨年と今年で予算規模とか団体が違うところはあるか。

【事務局】 婦人会と子ども会は、会員数と団体数が減少している。

婦人会は、玉島地区の婦人会が解散となり、会員が約150人減となっている。それに伴い、補助金額が減少している。費用弁償や、年一度発行している新倉敷の会報誌等の必要部数が減っており、その関係で補助金の額が3万4千円減となっている。

子ども会連合会については、団体数が10団体、会員数が約600人減っており、補助金も減額となっている。

6 その他

7 閉会

- ・生涯学習部長による挨拶
- ・会議終了後、委員8名、教育長が自然史博物館視察へ参加。

対象事業名・件名等	ページ	質問内容	担当部署	回答
ネットワークシステム整備事業④-1 展示事業、自然史博物館管理運営事業、 自然史博物館整理事業⑧-1 生涯学習活動推進事業⑨-1 生涯学習環境整備事業、拡大・公民館施設 整備事業、科学センター運営事業、天文 王国おやま事業⑨-2 地域還元型講座実施事業、地域情報発信 事業、地域力向上講座実施事業⑨-3 くらしき市民講座実施事業、大学との連携 による学校等支援事業⑨-4 家庭教育学級解説事業、こどもセンター 事業、子育て支援コーナー整備事業、親 育ち支援講座実施事業⑩-1 生きる力支援事業⑩-3	P 4、 5、 8、 9、 12、 22、 24、 25、 26、 27、 28、 29、 30、 31、 32、 33、 34、 35、 44	公民館などのフリーWi-Fi化について、倉敷市は具体的に進める 考えがあるのか。 施設整備の視点からではなく、経験値の二極化(貧困問題)を解消 するためのインフラ整備として、一刻も早く手を付けた方がいいと 思うがいかがか。 下記の事業において、施設のフリーWi-Fi化が進められた場合、 どのようなメリット、デメリットがあるか。	中央図書館、 美術館、 自然史博物館、 市民学習センター、 科学センター	公民館などの社会教育施設のWi-Fi環境の整備については、施設の利用目的などからコストや必要性等を考慮し、個別に判断が必要と考えています。 そのうち、図書館につきましては、Wi-Fiを利用することで配信等を利用した講座などの開催が可能となる一方で、複数人がインターネットやゲームなどをすることで大きな声を発したり会話を行うことが予想されます。図書館に来館される方の多くは読書を目的としており、Wi-Fiの導入により静かに読書を行う人への妨げとなる可能性もあることから、現時点において図書館にWi-Fiを導入することは考えておりません。 一方で、公民館につきましては、学習施設である設置目的等を考慮し、ホールや会議室等を利用して学習を行う利用者向けにWi-Fi環境の整備を進めていく方針とし、すでに導入済みである市民学習センター、玉島・児島公民館に加え、8月から倉敷と水島公民館でも利用していただけるよう準備を進めているところです。またその他の地区公民館につきましても施設利用者向けにモバイルルーターの貸出しを行えるよう準備をしているところです。 なお、フリーWi-Fiの整備につきましては、ロビーなどの共用部等での使用が想定されますが、学習施設である公民館の設置目的等を考慮し、現在のところ考えておりません。
青少年育成センター非行防止活動事業 ⑩-3	P46	相談活動について(552件)最新の若者(青少年)は電話よりSNSが多いと認識しているが、電話・来所・メール相談の内訳は大体で良いので教えてください。また、青少年本人と保護者の割合はどうか？	育成センター	電話383件、来所28件、メール141件です。 青少年本人の相談の割合は全体の21.2%、保護者の相談の割合は全体の48.4%です。

【その他の意見】

対象事業名・件名等	御意見
全体意見	妊娠中、0歳・1歳の家庭で子育てをしている人達への働きかけの弱さを感じます。子育てのはじまりの大切なところでもあり、また子育ての情報としても入りにくい人達でもあります。ここを対象にしたことも今後取り入れてほしいです。
高梁川流域図書館相互利用推進事業 ⑨-2	とても便利なシステムでありがたく利用させていただいています。矢掛町図書館で借りた本を真備で返却できると返しに行ったらできないと言われ持ち帰りました。再度、お願いに行ったらOKでした。司書やスタッフの共通認識を再度お願いしたいです。
学校運営協議会制度(コミュニティスクール)推進事業⑩-2 放課後子ども教室推進事業⑩-2 地域連携による学校支援事業⑩-2	「学校を核とした地域づくり」の実現のために、現役のPTA会長、副会長が上記事業体の一部となり、地域の先輩たちと共に活動することが望ましい。PTA活動は縮小していく傾向があるため。
伝統的建造物群保存事業、伝統美観保存 地区修景事業⑭-1 町並み保存事業⑭-2	明治時代を基準とした建物の外観の修景事業は一定の目的を達せられたと思う。次世代の文化財のために、かつての浦辺鎮太郎が挑んだようなデザイン活動を行政としても奨励しても良いのではないか。
公民館施設整備事業⑨-2	旧下津井町役場の跡地には、大正期に設置された「道路元標」が現存している。これは、保存し、郷土史のため活用していただきたい。
「生きる力」支援事業⑩-3	教育委員会の関連事業以外に、民間NPO団体などの不登校児支援活動、若しくはフリースクールなどを支援すべき。